

第596号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2018年11月16日
発行責任者 喬木村公民館長 徹
市 瀬
編集責任者 公民館編集部 長 志
仲 田 久
印刷 龍共印刷株式会社

喬木第二児童クラブ
たかぎ第二子ども教室
木工教室

去る十月十九日(金)、喬木第二児童クラブ・たかぎ第二子ども教室において、飯伊森林組合の協力で木工教室が行われました。



第二小学校の児童は学校の山の作業やマツタケの収穫をする「山学習」を行っています。しかし、



山や木の役割、また、森林組合の仕事について詳しく知らない児童が多く、山を守る大切な仕事をしていくという話を真剣に聞いていました。

その後、ポストの組み立ては、五年生が担当し、他の児童は自分の

箸とネームプレートを作りました。箸は、木曾ヒノキを使用しています。専用の固定具と小さなカンナで削っていくと徐々に箸の形になっていくのですが、削るたびにヒノキのいい香りが辺りに漂っていました。低学年

には難しいかと思われましたが、懸命にカンナをかけて最後まであきらめずに作り上げました。やすりをかけると、一人一人の個性が光ります。世界に一つだけの自分の箸が出来上がり満足顔でした。



箸作り

また、ネームプレートもペンで名前を書くだけでなく、ビーズや木の実を付けて作るなど工夫し、夢中になって作っていました。

十一月四日に阿島里山公園で阿島区主催、こども学遊館共催で第一回里山フェスティバルが開かれ、多くの家族連れでにぎわいました。

里山フェス開かれる



出来上がったトーテムポール

当日までどれほどの人が集まるのか不安でしたが、だんだんと人が集まり約四百人ほど来てくれました。トーテムポールを作る所では親子で小さな木に思いやり目、鼻、口などつけ、子供らしい色をつけてどれも楽しかったです。会場にはフリーマーケットや、豚汁、竹ついで炊いたご飯、学遊館では箸やネームプレートを作りました。手作りの自動販売機も登場し、楽しんでいました。最後に、二本のトーテムポールをたてる大きな歓声がありました。

あの時

誰もがスマホを持つ時代になった。今やガラケーを使う人を見ることは稀になった。六歳と四歳になる我が家の孫たちも、実に上手にタブレットを使い、動画を見たりゲームを楽しんだりしている。

先日、ある教育関係の方と話す機会があった。パソコンなどのIT機器を利用した教育に先進的に取り組んで来た地域の方である。今、これまで取り組んできた教育のあり方を振り返って見直していると言う。ITに傾斜し過ぎた教育によって、子どもたちの直接体験が不足し、心の奥底に刻み込まれるような実感を伴った確かな学びが薄れてしまったのではないかと言うのだ。

人は発達課題をクリアしながら育っていく。ハイハイをしつかりやって腹筋背筋が十分育つと立ち上がって歩き始めるように、発達課題を一つ一つ確実にクリアしていくことが大事だ。国際化が進み、英語に幼児から触れさせることが流行った。情報化への対応でICT教育が盛んになっているが、私は早期教育が必ずしも成果を上げるとは思っていない。子どもの育ち、成長の根幹は、直接体験、実体験の積み重ねであること、を肝に銘じたい。年に数回しか帰省しない孫たちだが、実感のある直接体験を用意してかかわろうと思う。

伊久間では毎年四月二十九日(旧天皇誕生日)に観音祭典が行われております。この行事は伊久間区の事業として行われ、法蓮寺が委託を受け、寺総代・世話人が中心となり行われております。観音信仰が地方の庶民の間に広まったのは徳川時代からといわれており伊久間の観音信仰もその頃と思われる。

伊久間城坂
三十三番観音祭典

文化財保護委員 大原 成章

石像三十三体の観世音菩薩の合祀するあり住職田中宏三之を城坂に勧請して大方世間の参詣に便し、且つ村内宗教思想の統一の振作に資さんと志し篤信の士、大原茂久、大原喜太郎、吉川諭吉、横前喜作弥の諸氏と相謀りて観音講を設立し、勧請の事業を起し、城坂に安置後も年々之が奉祀の儀を為さん事を決定せり。とあります。

この後、区内の殆どが賛同石像三十三体を城坂に安置し、同年四月二十七日賛同した講員が会して勧請祭が盛大に行われており、この時の費用は講員の講費を以て賄われております。その後昭和十八年太平洋戦争による物資不足の時期にも工夫しながら絶やす事なく行われてきました。



城坂頭の三十三番観音

観音祭典の日は早朝より総代・世話人が集まり、観音様に供えるため、上新粉をつき繭玉を作ります。昭和三十年代までの伊久間原



アクセサリー作りに参加

高橋富美雄先生は、かつて伊久間区役所に次のように書いておられます。「全国にも殆ど例を見ない素晴らしい行事で、今は後の区の祭りとして未永く伝えてゆきたいものです。本当に素晴らしい無形文化財だと思います。」

第29回 喬木村駅伝大会

第二十九回喬木村駅伝大会が十月二十八日(日)に行われました。

小学生チームから一般チームまで幅広い年齢層で、全二十四チームが参加しました。また、今年は静岡県磐田市竜洋地区と友好町村三十五周年を言うことで、三チームが参加してくれ、大会に華を添えてくださいました。

朝は大変冷え込みましたが、スタートの時間には太陽も顔を出し、絶好の駅伝日和の中、総距離十五・七kmのコースを、全チームがゴールすることができました。総合優勝は、圧倒的な早さでゴールした喬木中学サッカー部二年チームでした。

多くの声援が飛び交う中、つながれた「たすき」。皆が一つになり、とても清々しい大会となりました。



総合優勝 中学男子の部優勝 喬木中学サッカー部2年

- 総合優勝**
喬木中学サッカー部2年
記録1:03:47
- 一般男子の部
 - 1位 伊藤製菓有限公司A
 - 2位 信州物産とゆかいな仲間達
 - 3位 このあとべんてん
 - 一般女子の部
 - 1位 ThRough by 伊藤製菓
 - 中学男子の部
 - 1位 喬木中学サッカー部2年
 - 2位 中学校サッカー部1年
 - 3位 まゆ濃
 - 小学生男子の部
 - 1位 喬木アレグリ6年
 - 2位 喬木少年野球クラブ6年
 - 3位 喬木アレグリ4年生
 - 小学生女子の部
 - 1位 TMBK



一般女子の部優勝 ThRough by 伊藤製菓



一般男子の部優勝 伊藤製菓有限公司A



小学生女子の部優勝 TMBK



小学生男子の部優勝 喬木アレグリ6年

たかぎ短歌会 神無月歌会詠草

盆過ぎて孫も子供も帰り行きコラの空き瓶寂しく残る
夏秋瓜われの背より高く伸びよどろに捉まり台風に耐える
淡々と軽やかに生きし樹木希林平成の年終活の日日
廃校の小学校に立ち寄れば今にも児童の飛び出しごと
物言はぬ姉の遺体に今一度さよなら言ひて柩閉じたり
聞くだけで心ときめくプロ野球勝つても負けても勿論巨人

小椋 りよ
多田 昭
桐原 邦夫
知久 美子
関島 春子
原 健彦

今年また里から見事な廿世紀父母亡くなりて二十年経つとも

鈴虫と花を守りてくれし夫偶の入院の我に代わりて

キッチンの子の孫の写真が笑ひる今にもお茶目な声聞こゆかに

女郎花など持ち寄りて直売所次つぎ仕上がる盆花の束

待ちまちし久びさの旅気を揉みぬテレビに映る台風の渦

二人して並べる写真は米寿なる夫より老けたる介護するわれ

百人の寮の仲間が願い込め大食堂に星祭りの笹

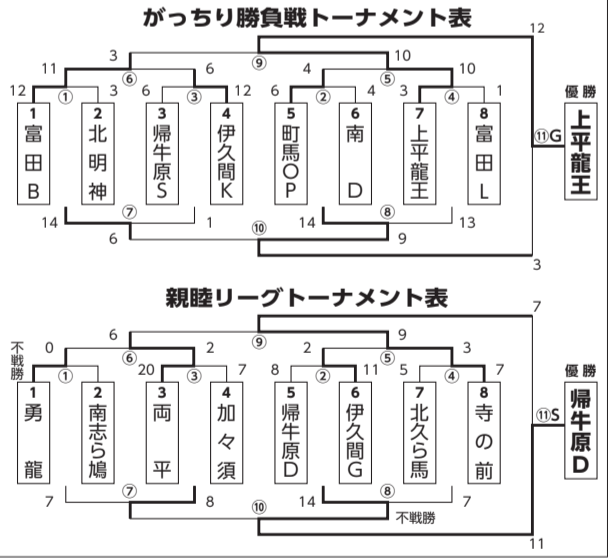
佐渡の空トキを望めど姿なし土産に朱鷺の玉子饅頭

田中 妙子
木下 寿子
内山 和子
元島 康子
市瀬 准子
木林 睦枝
大村 初見
福澤 亀人

夜間ソフトボールトーナメント戦 シーズンを終えて

上平龍王主将 小林一成

リーグ戦三連覇また、トーナメント戦を優勝する事が出来、今シーズンを終えることが出来ました。これも監督のもと、若い人も、そうでない人も選手一人一人が力を発



第二十三回 村民ゴルフ大会

第二十三回分館対抗ゴルフ大会が十月二十三日高森カントリークラブで開催されました。今回は北分館が当番幹事で行われました。昨年の参加者に加え、加々須分館、寺の前分館が参加し十四分館百十五名が参加しました。

今大会はダブルベリア・Wパーカット方式による各分館上位五名のネットスコアの合計で順位を決めました。

城下武男実行委員長はあいさつで「村民ゴルフ大会は、各分館の方とプレイするため、いつものゴルフと違った交流ができ、コミュニケーションも広がる良い機会なので、ぜひ多くの方に参加していただきたいと思っております。」と話されました。競技終了後、福祉センターにおいて佐藤副村長、市瀬公民館長を来賓に迎えて表彰式が行われました。

成績は次の通りです。



優勝した伊久間分館

- 団体の部
優勝 伊久間分館
準優勝 北分館
3位 帰牛原分館
個人の部
70歳以上及び女性の部
優勝 林 弘富さん
優勝 大脇正志さん
60歳未満の部
優勝 池田 誠さん

今年の紅葉は、夏の天気の良い色づきがよくないとされている。山々の紅葉をながめると、秋深しと思うのと冬がもうじき来るんだな、寒くなるなあと思う。今年こそスタッドレスタイヤを早めに交換しておこう。

最近テレビで料理番組を見る事が多くなった。何かニューズを見てみると、そうぞうしい話しばかりだし、大統領の言葉が流れると特に目に付き、おだやかにいれないし、そんな時料理番組を見てみると、なんとなく平和な、おだやかな、癒やされる今日このごろ。

編集後記

十月二十四日、首記大会に出場する選手への激励が行われ、喬木ジュニアバレーボールクラブに所属する小学生八名に激励金が授与されました。同クラブは南信大会王者として県大会に出場し、北信



健闘した選手一同

越大会の切符を手にしました。十月二十八日、伊那市民体育館にて開催された北信越大会では、決勝トーナメントには進めなかったものの、三位グループトーナメントで一位に輝きました。今回出場した八名は、三、四年生。今大会で得た経験を活かし今後も活躍することを期待しています。

平成30年度 ソフトバレー・北信越ブロックファミリー&キッズ・一般フェスティバルin長野 出場